

大府みどり公園 民間活力導入に向けたサウンディング調査の結果について

1 調査の目的

本市では、都市公園法に基づく「公募設置管理制度（Park-PFI）」など民間活力の導入による大府みどり公園の魅力向上を目的に、事業化検討のためサウンディング調査（個別対話）を実施しました。

2 実施概要

- 申込期間：2025年11月21日～12月24日
- 実施日：2026年1月21日、23日
- 実施場所：大府市役所
- 参加企業：4社
- 実施方法：個別対話形式（1社あたり30～50分）

3 主な意見の概要

（1）事業手法に関する意見等

- 建設費高騰や立地条件などから、Park-PFIによる収益施設の整備・運営で投資を回収することは現状では難しい。
- 民間事業者が新たな収益施設を整備する方式ではなく、公園全体の管理運営を一体的に担える枠組みであれば、参入を検討しやすい。

（2）事業アイデアの提案

- イベントステージとしても活用できる日除けを兼ねた屋根施設の整備
- 芝生広場を活用した有料イベントの開催やキッチンカーの導入

（3）行政に期待する事項

- 老朽化した施設の改修、バリアフリー化や日除け施設の拡充
- イベント開催やキッチンカー出店等に対応できる電源の確保
- 駐車場の増設やイベント時の混雑緩和に向けた対応

4 結論

今回のサウンディング調査の結果を踏まえ、現時点におけるPark-PFIによる事業化は見送ることとしました。

今後は、社会情勢の変化を注視しつつ、民間活力の導入可能性も含め、公園の魅力向上に資する施策について、引き続き検討を進めてまいります。